

展示替え一覧表

前期:平成21年2月24日(火)～3月29日(日)

後期:平成21年3月31日(火)～5月6日(水)

コーナー名	資料名 ()は写真パネル、もしくは簡易複製のみの展示	作者	版元	時代	所蔵	展示期間 前期 後期
第一部 絵双紙展	今様見立土農工商 商人	三代歌川豊国	魚屋栄吉	安政四年(一八五七)	本館	前期
	『江戸名所図会』巻一		須原屋茂兵衛、須原屋伊八	天保五年(一八三四)		全期間
	浅草風俗図巻			一八世紀前期		後期
	浅草風俗図巻(インクジェット複製)					前期
	松木平吉引札		松木平吉	明治		後期
	見立三十六句撰 新中納言とも盛	三代歌川豊国	伊勢屋兼吉	安政三年(一八五六)		前期
	見立三十六句撰 きられ与三、夜はん忠助	三代歌川豊国	魚屋栄吉	安政三年(一八五六)		後期
	源氏後集余情 第二巻 はまき木	三代歌川豊国	林屋庄五郎	安政四年(一八五七)		前期
	源氏後集余情 第十六 閑屋	三代歌川豊国	若狭屋与市	安政五年(一八五八)		後期
	具足屋嘉兵衛他商標(『懐瀟諸扇』第二巻)		具足屋嘉兵衛他	江戸末期		前期
	古賀屋勝五郎引札(『懐瀟諸扇』第二巻)		古賀屋勝五郎	江戸末期		前期
	桜井安兵衛引札(『懐瀟諸扇』第二巻)		桜井安兵衛	江戸末期		後期
	林屋庄五郎引札(『懐瀟諸扇』第四巻)		林屋庄五郎	江戸末期		前期
	川口宇兵衛引札(『懐瀟諸扇』第一七巻)		川口宇兵衛	江戸末期		後期
	これが江戸 錦絵合(『懐瀟諸扇』第一〇巻)			嘉永五、六年(一八五二、三)頃		全期間
	役者見立東海道五十三次之内 大磯 とら	三代歌川豊国	井筒屋庄吉	嘉永五年(一八五二)		前期
	役者見立東海道五十三次之内 十部祐成	三代歌川豊国	井筒屋庄吉	嘉永五年(一八五二)		前期
	役者見立東海道五十三次之内 大津 又平女房おとく	三代歌川豊国	住吉屋政五郎	嘉永五年(一八五二)		後期
	役者見立東海道五十三次之内 大津 又平	三代歌川豊国	住吉屋政五郎	嘉永五年(一八五二)		後期
	役者見立東海道五十三次之内 京二 真柴久吉	三代歌川豊国	辻阿屋文助	嘉永五年(一八五二)		前期
	役者見立東海道五十三次之内 京 石川五右衛門	三代歌川豊国	辻阿屋文助	嘉永五年(一八五二)		前期
	役者見立東海道五十三次之内 石部 おはん	三代歌川豊国	伊勢屋兼吉	嘉永五年(一八五二)		前期
	役者見立東海道五十三次之内 岡部 六弥太	三代歌川豊国	辻阿屋文助	嘉永五年(一八五二)		後期
	木曾街道六十九次之内 日本橋	歌川国芳	辻阿屋文助	嘉永五年(一八五二)		前期
	江戸名所図会 十九 丸山 犬山道節	三代歌川豊国	伊勢屋忠介	嘉永五年(一八五二)		前期
	江戸名所図会 二十 内藤新宿	三代歌川豊国	伊勢屋忠介	嘉永五年(一八五二)		後期
	八犬伝いぬのさうの内 浪土左母次郎	二代歌川国貞	萬屋吉蔵	嘉永五年(一八五二)		前期
	八犬伝犬之舁紙透内 犬江親兵衛父山林房八	二代歌川国貞	萬屋吉蔵	嘉永五年(一八五二)		後期
	八犬伝犬之草紙透内 里見義成	二代歌川国貞	萬屋吉蔵	嘉永五年(一八五二)		後期
	八犬伝犬之草紙透内 蕃六娘浜路	二代歌川国貞	萬屋吉蔵	嘉永五年(一八五二)		前期
	江戸名所百人美女 品川歩行新宿	三代歌川豊国	山本屋平吉	安政四年(一八五七)		前期
	江戸名所百人美女 葉げんぼり	三代歌川豊国	藤阿屋慶次郎	安政五(一八五八)		後期
	『江戸名所図会』巻三		須原屋茂兵衛、須原屋伊八	天保五年(一八三四)		全期間
	東都名所 芝神明宮祭礼生姜市之景	漢齋英泉	万屋吉兵衛	弘化(一八四四～四八)		後期
	東都名所 芝神明境内	歌川広重	佐野屋善兵衛	天保(一八三〇～四四)前期		前期
	辻ビラ(大曲馬)			弘化(一八四四～四八)		前期
	江戸土産・江戸買物覚			江戸後期		全期間
	『江戸買物覚案内』		中山芳山堂	文政七年(一八二四)		全期間
	東都名所 浅草金龍山年之市群集	歌川広重	佐野屋善兵衛	天保(一八三〇～四四)前期		前期
	東都名所 浅草観世音	歌川広重	和泉屋市兵衛	嘉永六年(一八五三)		前期
	東都名所 築地御門跡	歌川広重	佐野屋善兵衛	弘化四～嘉永五年(一八四七～五二)		後期
	東都名所 永田馬場山王宮	歌川広重	佐野屋善兵衛	天保(一八三〇～四四)中期		後期
	四代目市川小団次の因果物師小兵衛	三代歌川豊国	萬屋吉蔵	文久元年(一八六一)		前期
	八代目市川團十六の死絵			嘉永七年(一八五四)		後期
	『狂歌江都名所図会』第二編	歌川広重		安政三年(一八五六)		全期間
八代目市川團十六の八役	歌川国芳	漢屋小兵衛	嘉永二年(一八四九)	前期		
四代目市川小団次の雷櫻左衛門、八代目市川團十郎の武蔵坊弁慶、坂東竹三郎の源義経	歌川国芳	林屋庄五郎	嘉永二年(一八四九)	後期		
三代目坂東三津五郎、五代目瀬川菊之丞死絵	歌川国安	尾伝	天保三年(一八三二)	前期		
三代目坂東三津五郎、五代目瀬川菊之丞死絵	歌川国芳	山口屋藤兵衛	天保三年(一八三二)	後期		
三代目坂東三津五郎、五代目瀬川菊之丞死絵	歌川国安	江崎屋辰蔵	天保三年(一八三二)	前期		
初代中村玉助死絵	歌川国貞	菊屋市兵衛	天保九年(一八三八)	後期		
五代目松本幸四郎死絵	歌川国貞	萬屋重三郎	天保九年(一八三八)	前期		
五代目松本幸四郎死絵	歌川国貞	萬屋重三郎	天保九年(一八三八)	後期		
四代目中村歌右衛門死絵		江崎屋辰蔵か	嘉永五年(一八五二)	前期		
四代目中村歌右衛門死絵		大海屋か	嘉永五年(一八五二)	後期		
四代目中村歌右衛門死絵	歌川国麿		嘉永五年(一八五二)	後期		
四代目中村歌右衛門死絵			嘉永五年(一八五二)	前期		
坂東しうか死絵			安政二年(一八五五)	前期		
極楽道中図(坂東しうか死絵)			安政二年(一八五五)	前期		
坂東しうか死絵			安政二年(一八五五)	後期		
朝比奈大人形の見世物	歌川貞房	玉屋惣助	弘化四年(一八四七)	前期		
朝比奈大人形の見世物	歌川貞秀		弘化四年(一八四七)	後期		
誠忠義士伝 大星由良之助	歌川国芳	海老屋林之助	弘化四年(一八四七)	前期		

第二部 繪畫制作事例	誠忠義士伝 三浦治郎右衛門包常	歌川国芳	海老屋林之助	弘化四年(一八四七)	本館		後期
	誠忠義士伝 織部矢兵衛金丸	歌川国芳	海老屋林之助	弘化四年(一八四七)		前期	
	誠忠義士伝 寺岡平右衛門信行	歌川国芳	海老屋林之助	弘化四年(一八四七)			後期
	東都高輪泉岳寺開帳群衆之図	三代歌川豊国	恵比須屋庄七	嘉永元年(一八四八)			後期
	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	歌川国芳	伊場屋仙三郎	天保一四年(一八四三)			後期
	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	歌川貞秀	板屋久太郎	天保一四年(一八四三)		前期	
	源頼光苦惱之図	歌川芳盛	古賀屋勝五郎	慶応四年(一八六八)		前期	
	四天王化物蠟燭			慶応四年(一八六八)			後期
	三代目沢村田之助の薄雲他(未育蜘蛛線)	二代歌川国貞	伊勢屋兼吉	元治元年(一八六四)			後期
	昔ばなし舌切雀	歌川芳盛	古賀屋勝五郎	元治元年(一八六四)		前期	
	本朝振袖之始 素戔嗚尊妖怪降伏之図	江戸川北輝	板屋彦兵衛	嘉永四年(一八五一)			後期
	安倍泰成調伏妖怪図	三代歌川豊国	不詳	弘化三年(一八四六)			後期
	きたいなめい医難病療治	歌川国芳	遠州屋彦兵衛	嘉永三年(一八五〇)		前期	
	きたいなめい医難病療治	歌川国芳	遠州屋彦兵衛	嘉永三年(一八五〇)			後期
	浮世又平名画奇特	歌川国芳	越村屋平助	嘉永六年(一八五三)		前期	
	浮世又平名画奇特	歌川国芳	越村屋平助	嘉永六年(一八五三)			後期
	浮世又平名画奇特(「懐瀟諸扇」第一三巻)			嘉永六年(一八五三)		全期間	
	浮世又平名画の昔	歌川芳盛	不詳	慶応四年(一八六八)		前期	
	源頼朝公富士之裾野牧狩之図	歌川国貞		文化後期			後期
	御猪狩小金原御場所図			嘉永二年(一八四九)		全期間	
	小金原御鹿狩絵巻			嘉永元年(一八四八)		全期間	
	富士の裾野巻狩之図	歌川貞秀	山口屋藤兵衛	嘉永元年(一八四八)		前期	
	富士の裾野巻狩之図	歌川貞秀	山口屋藤兵衛	嘉永元年(一八四八)			後期
	頼朝公富士巻狩之図	歌川芳貞	佐野屋善兵衛	安政六年(一八五九)		前期	
	源頼朝公富士嶺牧狩之図	歌川国芳	萬屋吉蔵	嘉永五年(一八五二)		前期	
	弁慶鯨			安政二年(一八五五)		前期	
大都会無事			安政二年(一八五五)		後期		
瓢箪鯨			安政二年(一八五五)	前期			
鯨と火事の相撲			安政二年(一八五五)		後期		
第三部 版木からみる繪	時世朝桜	三代歌川豊国	角辻	安政三年(一八五六)	前期		
	大日本物産図会 東京錦絵製造之図	三代歌川広重	大倉孫兵衛	明治前期		後期	
	源氏雲浮世画合 四十一 幻 仁木直則	歌川国芳	伊勢市	弘化三年(一八四六)		後期	
	版木 源氏雲浮世画合 四十一 幻 仁木直則	歌川国芳	伊勢市	弘化三年(一八四六)		後期	
	源氏雲浮世画合 十一 花散里 加藤重氏	歌川国芳	伊勢市	弘化三年(一八四六)	前期		
	版木 源氏雲浮世画合 十一 花散里 加藤重氏	歌川国芳	伊勢市	弘化三年(一八四六)		後期	
	源氏雲浮世画合 横笛	歌川国芳	伊勢市	弘化三年(一八四六)		後期	
	版木 源氏雲浮世画合 三十七 横笛 頼兵衛・おふね	歌川国芳	伊勢市	弘化三年(一八四六)	全期間		
	英勇五人傑 大星由良之助	歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)	前期		
	版木 英勇五人傑 大星由良之助	歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)	前期		
	英勇五人傑 唐木政右衛門	歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)		後期	
	版木 英勇五人傑 唐木政右衛門	歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)		後期	
	忠孝名誉奇人伝 小式部内侍	歌川国芳	伊勢市	弘化二年(一八四五)頃	個人蔵	前期	
	版木 忠孝名誉奇人伝 小式部内侍	歌川国芳	伊勢市	弘化二年(一八四五)頃	本館	前期	
	忠孝名誉奇人伝 宮本武蔵	歌川国芳	伊勢市	弘化二年(一八四五)頃	個人蔵	後期	
	版木 忠孝名誉奇人伝 宮本武蔵	歌川国芳	伊勢市	弘化二年(一八四五)頃		後期	
	鏗鏘手練鍛の名刃 阿波の十郎兵衛	歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃	前期		
	版木 鏗鏘手練鍛の名刃 阿波の十郎兵衛	歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃	全期間		
	鏗鏘手練鍛の名刃 佐野治郎左衛門	歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃		後期	
	版木 鏗鏘手練鍛の名刃 佐野治郎左衛門	歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃	全期間		
	鏗鏘手練鍛の名刃 佐々木蔵流	歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃		後期	
	版木 鏗鏘手練鍛の名刃 佐々木蔵流	歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃	全期間		
	達男気性競 つかかね弥左衛門	歌川国芳	伊勢市	嘉永元年(一八四八)頃	前期		
	版木 達男気性競 つかかね弥左衛門	歌川国芳	伊勢市	嘉永元年(一八四八)頃	全期間		
	第四部 繪巻を科学する	達男気性競 金神長五郎	歌川国芳	伊勢市	嘉永元年(一八四八)頃	個人蔵	後期
		版木 達男気性競 金神長五郎	歌川国芳	伊勢市	嘉永元年(一八四八)頃	全期間	
役者見立東海道五十三駅 沖津 児雷也		三代歌川豊国	伊勢屋兼吉	嘉永五年(一八五二)	前期		
東海道五拾三次之内 品川		歌川広重	竹内孫八	天保(一八三〇~四四)前期		後期	
東海道五十三対 鳴海		三代歌川豊国	伊勢市	弘化二年(一八四五)頃	前期		
版木 東海道五十三対 鳴海		三代歌川豊国	伊勢市	弘化二年(一八四五)頃	全期間		
英勇五人傑 吉岡兼房		歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)		後期	
版木 英勇五人傑 吉岡兼房		歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)	全期間		
英勇五人傑 大川巴右衛門		歌川広重	伊勢市	弘化四・嘉永元年(一八四七~八)	前期		
鏗鏘手練鍛の名刃 春藤治郎右衛門		歌川国芳	伊勢市	弘化四年(一八四七)頃		後期	
版木 御庭の飼鳥		歌川国芳	伊勢市	嘉永二年(一八四九)頃	全期間		

展示品は予告なく変更する場合がございます